

行政報告

市議会12月定例会が11月28日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

東バイパスの架橋上部工完成 公共事業の進ちよく状況

早期発注に鋭意努力を続けた結果、公共工事の11月末現在の発注率は、約84%となる見込みで、順調に推移しています。管内の景気は、全体としては足踏み状態が続いているため、引き続き、景気対策に万全を期していきます。主な事業の進ちよく状況は、道路関連では、「有浦東台線」の通称「東バイパス」は、平成16年度からの2力年事

業で架橋上部工を施工してきましたが、11月末で完成しています。

同時施工している「都市計画街路事業」の同路線も、東台地内の用地買収や移転補償契約が順調に進み、用地では本年度計画の70%に当たる1、430㎡が、移転補償では90%に当たる11件がそれぞれ契約を終え、平成19年の暫定供用開始に向け、順調に推移しています。

道目木地区の「市道扇田十二所線歩道新設事業」は、9月末に発注し、現在の進ちよく率は約30%で、本年度末には完成の見込みです。

秋田わか杉国体関連では、ソフトテニス会場となる「高館公園」と、バレーボール会場となる「樹海公園」は、いずれも園路や駐車場、広場の整備工事の進ちよく率が11月末で90%となり、18年2月には事業完了の見込みです。

比内まちづくり事業関連では、「市営南町住宅建設事業」が、合併関連の予算措置に伴い9月末の発注となり、11月末での進ちよく率は、13%ですが、外構工事を含め、来年3月には完成の

見込みです。

農業関連では、「農業集落排水資源循環統合補助事業」の「十二所北地区」は、事業着手から3年目を迎え、管路工事を曲田、軽井沢及び道目木地区で、また、処理施設の管理用道路の造成を曲田地区内で施工している、現在の進ちよく率は70%です。

本年度が初年度となる同事業の「独鈷中野地区」は、管路全体の実施設計及び処理施設の基本設計を発注済みで、11月末の進ちよく率は30%です。

水道事業関連では、上水道未普及地域の解消のため、本年度は、釈迦内、立花、餅田地区で「上水道配水管整備事業」を行っていますが、11月末の進ちよく率は50%です。川口地区及び扇田地区での「老朽管更新事業」の進ちよく率は40%、「矢立地区統合簡易水道整備事業」は20%となっています。「横

就職内定率の向上

ハローワーク大館管内では、10月末現在、来春高校卒業予定の就職希望者は259人、うち県内希望者は150人で、誘致企業であるニプロ株式会社、ニプロファーマ株式会社などの県内企業への就職内定率は70.0%で、昨年同期と比べて10.7ポイント上回っています。

県外希望者109人の内定率は84.4%、就職希望者全体では76.1%と、いずれも昨年同期を上回る状況です。内定率の全県平均は55.8%で、中

岩地区水道未普及解消事業」は、10月に発注した関係で、11月末の進ちよく率が10%と低くなっていますが、いずれも来年3月には完成の予定です。

公共下水道事業では、本年度は、大館地域において相染沢中岱、長木川南ほかで管路延長4.1kmを施工している、11月末での進ちよく率は60%に、また、比内地域では、扇田地区、笹館地区ほかで2.8kmを実施し、11月末での進ちよく率は30%です。

市立総合病院の増改築事業関連では、現在は、既存の渡り廊下や民間棟の解体工事を実施している、来年には、いよいよ中核施設である地上11階の高層棟の建設に着手する予定です。11月末現在の工事進ちよく状況は、全体工事費75億3、400万円に対して1.5%、本年度分の予定工事費に対して43.8%となっています。

雇用情勢

央地区、県南地区と比較して、県北地区が高い状況であり、とりわけハローワーク大館管内が最も高くなっています。今後とも、内定率100%を目指し、関係機関と連携を取りながら、地元企業への働き掛けを続けていきたいと考えています。

大館市工場等設置促進条例に基づく指定工場の従業員数の調査結果は、平成17年10月1日現在の指定工場の従業員数が、3,765人で、男性は2,643人、女性1,122人となっていて

